

～ 住民との協働による安全・安心な通学路の交通環境確保に向けて ～

【企画部・建設部・教育委員会・警察本部】

長野県では、通学中の児童生徒の悲惨な交通事故をなくすため、安全・安心な通学路の交通環境を、学校や教育委員会のみでなく、道路管理者や地元警察署、保護者や地域住民など、あらゆる関係機関が協働で創りあげていきます。

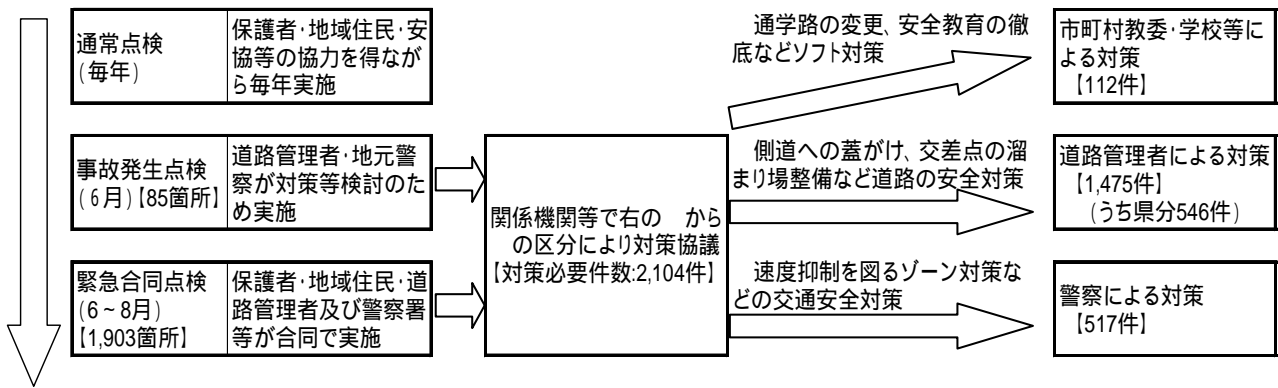
学校及び地域の要望の把握

通学路の安全対策に関する要望を、市町村教育委員会を通じて県教育委員会で集約し、関係機関で情報共有・対策の推進・進捗管理

通学中の事故に対する新たな取り組み

通学中の事故発生時には、道路管理者、地元警察署、保護者、地域住民、学校及び市町村教育委員会等による合同現地診断を実施し、対策案を検討

住民との協働による通学路の点検



〔 ソフト ハード 〕

通学路交通安全確保緊急対策

通学路等安全安心サポート事業【警察本部】
 (街頭指導員による児童の保護・誘導等)〔9月補正予算案:55,461千円〕
保護者、地域住民等の協力による通学時の安全確保
 【教育委員会】
 (道路横断時の誘導補助、危険箇所等への見守り員の配置強化)
安全点検の結果に基づき、通学路の変更【教育委員会】
 (早期の歩道整備等が困難な区間や危険箇所が多い区間の通学路を変更する)
道路環境整備【建設部】〔85件:9月補正予算案:498,888千円〕
 従来からの歩道整備の促進と併せ、小規模でも即効性の高い安全対策の実施
 (側溝への蓋がけ、交差点溜まり場整備、歩車分離防護策の設置、路肩のカラー舗装、ドットライン、警戒標識の設置等)
交通安全施設整備事業【警察本部】〔30件:9月補正予算案:167,077千円〕
 生活道路での速度抑制を図るゾーン対策の促進と、登下校中(歩行中)の事故の65%を占める横断中の事故を防止するため、信号機の改良を実施
 (ゾーン30エリアの拡大、歩車分離式信号機への改良)
事故発生箇所の対策【建設部、警察本部】〔再掲〕
 (H23中の事故発生箇所を再検証し、対策を実施)

9月補正予算案
 721,426千円
 【内訳】
 建設部 : 498,888千円
 警察本部 : 222,538千円

組中長期的に取り

関係機関や地域との連携による安全点検の継続実施【企画部・建設部・教育委員会・警察本部】
 危険を予測し、回避するという交通安全教育の基本の徹底【教育委員会・警察本部】
 継続的なドライバーへの交通安全教育・啓発【企画部・警察本部】
道路環境整備【建設部】
交通安全事業5カ年計画(H25～29)の策定
交通安全施設整備【警察本部】
 (歩車分離信号機への改進黨業の加速化、ゾーン30対策の推進)
スクールゾーン等における反復継続した交通指導取締【警察本部】
 (地域、学校関係者の要望把握と取締への反映)

通学路の合同点検実施結果 (緊急合同・事故発生)

1 対象学校数		393	校
2 合同点検実施箇所		1,988	箇所
3 合同点検に基づく対策必要件数	A+B+C	2104	件
(1) 市町村教育委員会・学校等による対策ほか (危険箇所への見守り員の配置強化、通学路の変更、安全教育の徹底等)	A	112	件
(2) 道路管理者による対策	B	1475	件
うち国管理道路		21	件
うち県管理道路		546	件
うち市町村管理道路		908	件
【県管理道路546件の対策の内訳】			
・ 小規模緊急対策〔対策済〕(路肩カー舗装、側溝蓋付修繕他:36件)		36	件
・ 歩道整備〔継続・対策中〕(交付金:54件、県単:65件)		119	件
・ 小規模安全対策〔9月補正〕(路肩カー舗装、防護柵、警戒標識他:59件)		59	件
・ 歩道整備〔9月補正〕(歩道中抜区間整備、交差点溜まり場整備:26件)		26	件
・ 中長期対策(歩道(H24国補正要望含む)、溜まり場、路肩拡幅〔用地・地元協議〕)		306	件
(3) 警察による対策	C	517	件
【警察による対策の内訳】			
・ 緊急対策〔9月補正〕(歩車分離:25件、ゾーン30:5件〔年度内に工事完了〕)		30	件
・ 簡易修繕対応(現場修復、標識・標示の修繕等)		107	件
・ 中長期対策(信号機新設・移設、歩車分離化、速度規制〔用地交渉、地元協議等〕)		380	件

部分は9月補正対応予定分:建設部85件(59+26) 警察本部30件 合計115件